

経営比較分析表（平成30年度決算）

千葉県 印西市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	90.52	17.88	3,888	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
101,299	123.79	818.31
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,752	11.17	1,589.26

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】平成30年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

印西市水道事業は、印旛広域水道から受水の割合が多く、高額なため、受水費の経営に与える影響が非常に大きくなっています。給水原価が高くなっています。

一方、印西市内には、当市営水道の他に県営水道、長門川水道企業団の2事業体があり、水道料金の差が大きくならないような料金単価としているため、供給単価は給水原価を大きく下回り、料金回収率が低い。

これを埋めるため、市、県から高料金対策の補助金を受け、経常収支比率は100%付近を保っています。

企業債残高対給水収益比率は、新たな企業債の借入がなく、また、償還も進んでいることから、類似団体と比較し、低い数値で推移している。

①経常収支比率(%)

【112.83】



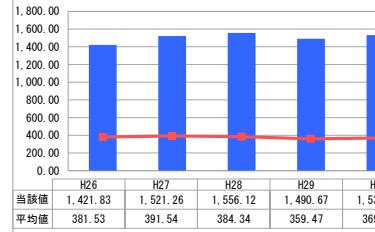
②累積欠損金比率(%)

【1.05】



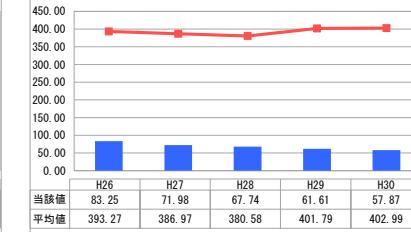
③流動比率(%)

【261.93】



④企業債残高対給水収益比率(%)

【270.46】



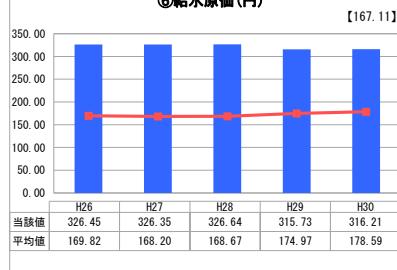
⑤料金回収率(%)

【103.91】



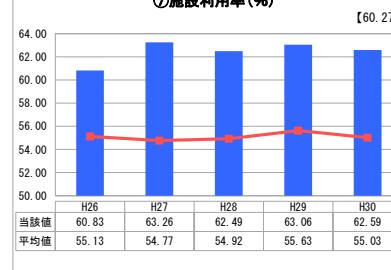
⑥給水原価(円)

【167.11】



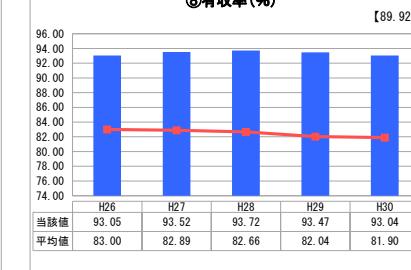
⑦施設利用率(%)

【60.27】



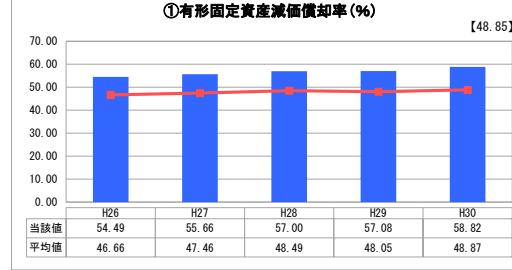
⑧有収率(%)

【89.92】



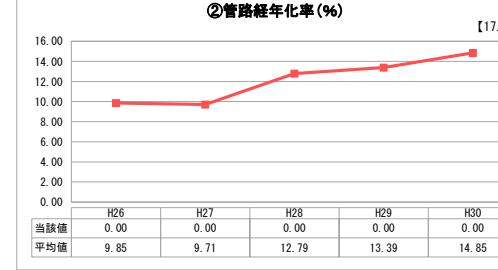
①有形固定資産減価償却率(%)

【48.85】



②管路経年化率(%)

【17.80】



③管路更新率(%)

【0.70】



全体総括

印西市内には、当市営水道の他に2事業体があり、水道料金の差が大きくならないような料金単価としているため、類似団体と比較して料金回収率が低い。

また、水道大口需要者が、水道と井戸を併用している状況が続く限り、給水収益の改善は難しいので、今後とも経営の効率化に努める必要がある。

現在は、管路の更新需要は高くないが、今後の更新については実情に合った計画を作り進めていきたい。